



# 道政かわら版

RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.22



## 2018 新年あいさつ



北海道議会議員  
喜多龍一

あけましておめでとうございます。旧年中は後援会活動や町の課題等について、ご指導やご案内等何かとお世話になりました。特に昨年は九月の突然の解散、十月二十二日執行というあらゆる分野で最繁忙期の選挙となり、皆さんに大変ご迷惑ご負担をおかけいたしました。そうした中にあつてもお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。結果はご承知の通り、政権与党自民党の議席を十勝で失うという厳しいものとなりました。選挙直後から来年度予算等に向け、国会（永田町）や政府各省庁（霞が関）に、つてを求めてさ迷う責任ある立場の方々の姿も、時に共に目にしてきたところ。十勝の未来に責任を持っていかねばならない自民党として、この事態を重く受け止め、力を合わせていかなければなりません。

また、一昨年の連続台風被害の復旧は、国道二七四号日勝峠が十月二十八日に開通するなど、道路、河川、橋梁、農地の復旧・復元に関係機関が全力を尽くしており、未だ道半ばとはいえず、その姿勢は多くの被災者や自治体・関係団体等に勇気と希望を与えてくれました。道においては、災害復旧は原型復旧の原則であることから、再度災害に備えなければならぬ芽室町、清水町、新得町の三河川については特別に改良復旧事業に位置づけ、鳥インフルエンザ対策についても訓練や初動

対策等のコミュニケーションを重ね、備えを充実強化するよう努めています。

今後に残されている課題は多くあります。

日勝峠は原型復旧で崩落した所に土砂を積み上げて復旧したにすぎません。一度崩落の道がついた所に、将来にわたって安心安全が確保できるのかという懸念は拭いきれませんが、道央との大動脈は高速道路と国道二七四号およびJR石勝線です。一昨年十二月下旬まで高速道路のみが命綱でしたし、その高速道路も一時不通となりました。例えば今十勝には石油の油槽所もなく、スタンド小売店に備蓄されているのみで、その備蓄は三日も無いといわれている現状です。その高速道路も片側二車線で、動脈としては非常に危険・脆弱極まりないと言わざるを得ません。昨年も書きましたが、この四車線化と日勝峠を強い道路にすることが、十勝・道東はもとより、本道にとつての重要課題と考えます。

基幹産業の農業は平成二十七年に次ぐ史上二番目の大豊作と言われ、ホット一息ついたところでしょうか。しかし、日・EU経済連携協定(EPA)交渉の大枠合意と、十一月十日に大筋合意したTPP11(カ国)は、わが国、特に本道の酪農畜産に大きな影響が想定され、また政府の農業分野に対する規制改革会議の動向にも目が離せません。特に本道の漁業生産は、昭和三十三年に統計を取り始めてから初の百万トン割れの八十六万トンと、極めて厳しいものとなっています。東日本大震災の影響によるホタテの稚貝の確保は、経年回復していくことから、数字の改善は見込めるものの、秋サケの二昨年、昨年の不漁は深刻さを増しています。こうしたことへの対策について、経営体の在り方を含め多方面から議論していくと道は表明していま

す。私としては、浜に顔を向けた議論となるよう、しっかりと道議会の立場から目を向けてまいります。更に小規模企業支援に、事業活動の継続や事業承継の具体策で、一歩前へ踏み出した国と道の取り組みを確かなものとするため、引き続き頑張つてまいります。

特に今、人口減少社会に立ち向かつて、十勝管内の自治体の地方創生の取り組みは、他の圏域に比して輝いています。それらの取り組みを将来にわたって持続的に担っていくのは人。学校教育・社会教育の両面での人づくりが、何より不可欠です。

印刷の関係で、この挨拶文は十一月下旬に書いたもので、半島情勢など世界情勢や国内情勢にその後何か変化があったかなかったか知る由もありません。いすれにしてもこうした観点で、今年もしっかりと頑張つてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げ、新年のご挨拶いたします。



札内後援会野遊会

## TOPICS-1 北海道立の「林業大学校」を2020年度をめどに設立へ

道は、人工林資源の充実による事業量の増加、高性能林業機械やICT導入など新技術の進展、林業労働者の3割が60歳以上となっていることなどから、北海道の森林づくりを担う人材育成機関のあり方について検討してきた。

道は昨年11月に今年度中に基本構想を策定し、2020年度をめどに設立したい考えを表明。

道内林業関係事業体が求める即戦力や、作業を統括管理できる指導力、企業等の中核を担うマネジメント力、地域の活性化に貢献できる実践力を習得させるため、修学年限2年、高卒～40歳の人を対象として、全道各地のフィールドを生かした実習を主体とした知識技術等について、効果的に習得。



## TOPICS-2 国の中小企業支援施策【事業承継税制】の拡充

多様な経営引き継ぎの形態に応じた税負担の軽減措置を講ずることにより、事業引継を加速化させる。

### ○相続税及び贈与税の猶予(拡大)

中小企業の後継者が、先代経営者から非上場会社の株式を相続又は贈与により取得した場合、一定の要件を満たし、都道府県の認定(平成29年度からは都道府県が認定事務を行っている)を受けたときは、相続税・贈与税の納税を猶予又は免除。→ 要件を見直し、抜本的に拡充

### ○他企業等に経営を引き継ぐ場合(創設)

中小企業の再編・統合等に係る税負担の軽減措置の創設

- ・ 株式、事業の譲渡益に係る税負担の軽減
- ・ 不動産の移転などに係る登録免許税や不動産取得税の軽減など

### ○個人事業者が事業承継する場合(創設)

個人事業者の事業用資産に係る事業承継時の負担軽減措置の創設

- ・ 相続税、贈与税、取得税、個人住民税

※これは昨年末12月時点の検討案で、12月初旬の入稿時点では、決定していません。



音調津運動会



帯広児童相談所視察

## 新年のご挨拶

喜多龍十勝連合後援会

会長 千葉 幹雄



後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族お揃いでお元気に平成三十年の新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年の十勝は基幹産業の農業は一昨年と違い文字通りの豊穡の秋を迎える事が出来ましたのでありますが、水産業は秋サケの記録的な不漁など非常に厳しい二年となりました。何らかの国道の対策が急がれると思います。

又、昨年は第四十八回の衆議院の総選挙が執行されました。後援会の皆様には力強いご支援を頂いたのですが大変残念な結果となり、この十勝から自民党の代議士がいなくなる事になりました。今後、あらゆる面でその影響が心配される所であります。

この現状を考える時、喜多道議の役割は益々大きく重くなるものと思います。喜多道議には、皆様からの期待に応えるべく更に政治家として全力で頑張ってくれるものと期待して居ります。

今後共、喜多道議、当後援会に對しましてご支援ご協力を心よりお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



十勝毎日新聞  
平成二十九年十月十三日

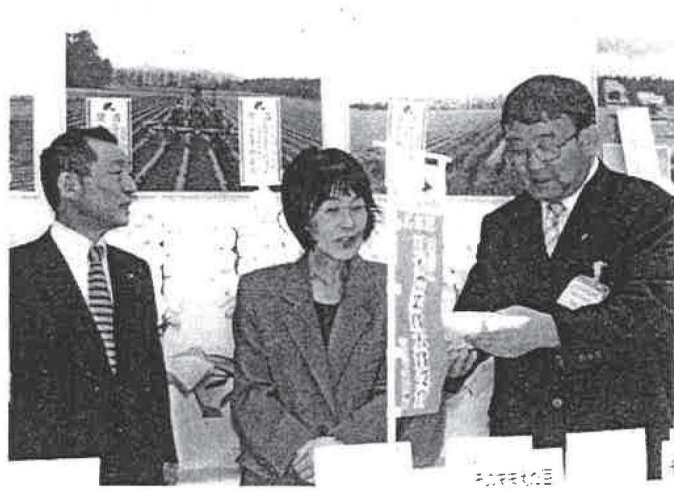
### 北大大学院生に 地方自治語る

喜多氏

十勝管内選出の喜多龍一  
議が3日、北大大公政策大  
院の授業で地方自治に関する  
講演を行った。写真。  
同授業は同大学院の石井吉  
春特任教授が担当するもの  
で、この日は約20人の大学院  
生などを前に「北海道の未来



ること、地域特性を生かし  
た産業や文化の育成などのメ  
リットがあるとした。喜多道  
議は「一つの視点を知ること  
で、北海道の持つ多様性を引  
き出すヒントを見つけれられ  
ら」と話した。(浅利圭一郎)



に、熱く」と題して、地方  
分権や広域行政、振興局の役  
割などについて解説した。  
また、所属する道議会の有  
志勉強会「北海道分県研究会」  
での考察を紹介。圏域ごとに  
産業構造や特徴が異なる道内  
を2つまたは3つの県に分け

十勝毎日新聞 平成二十九年五月二十六日

## モンゴル植林着々と

### 実行委 喜多氏、継続を強調 名誉会長

温暖化や乾燥化の影響で森  
林が減少しているモンゴル  
道によると、モンゴルは温  
暖化などの気候的要因に加  
が行われている。日本モンゴ  
ル文化経済交流協会や北海道  
森と緑の会、道で構成する「蒼  
いウランバートル技術支援実  
行委員会」は2013年から  
植林の技術支援活動が続けて  
いる。実行委名誉会長の喜多  
龍一は「緑化技術支援や  
人材育成を進めていきたい」



喜多名誉会長(右)も現地を訪問  
して行った植樹活動

十勝毎日新聞 平成二十九年八月二十六日

同交流協会などの要請を受  
け、道や林業試験場、民間団  
体が13年に実行委を設立し、  
JICA(国際協力機構)の  
成すとともに、モンゴルに  
適応するヨーロッパ  
アカマツなど5種の  
樹木を植栽してき  
た。  
16年からは国土緑  
化推進機構(東京)  
の採択を受け、96  
0畝に及ぶモンゴル  
国立庭園公園の緑化  
プロジェクトとして  
生活環境保全林造成  
事業を開始した。  
実行委は11、15

日、首都ウランバートル市を  
訪れ、技術者のフォローアッ  
プなどの支援を継続していく  
ことを確認し、ヨーロッパ  
アカマツなど約300本を植栽  
した。  
記念植樹で喜多名誉会長は  
「北海道が持っている寒冷地  
型植林技術を活用し、緑化技  
術の指導をしてきた。次の3  
年間は生活環境保全林造成と  
いうプロジェクトになった  
が、引き続き緑化技術支援、  
人材育成支援という趣旨に添  
って事業を進めていきたい」  
と述べ、継続的な活動にする  
考えを強調した。(道下恵次)

## 農の現場 知事が視察

### J A中札内村加工施設、直売所

高橋はるみ知事は7  
日、十勝管内J A中札内  
村の農産物加工処理施設第  
2工場でも山本組合長が  
と1日にオープンしたば  
かりの新農産物直売所を  
視察した。直売所ではJ  
JA中札内村加工施設、直売所

(中札内村で)

その後、高橋知事は手

(中札内村)

作りバターやチーズなど  
の製造・販売を手掛ける  
十勝野プロマージュを訪  
問。8日は昨年と今年の  
台風で河川が増水し、畑  
が冠水被害に遭った芽室  
町伏美地区を見て回っ  
た。  
視察は知事自らが地域  
に出向き、道民との対話  
や施設視察などを通じて  
「地域に徹底してこだわ  
る道政」を進める地域訪  
問の一環。十勝振興局の  
梶田敏博局長、喜多龍一  
道議も同行した。

## 同窓会、経済界も要望

### 幕別高と 単位制など道教委に 江陵高統合

【札幌】幕別高校と江陵  
高校の統合について、両校  
の同窓会・PTA、地元経  
済団体は25日、道教委で柴  
田達夫教育長に4学級の確  
保と単位制導入などを要望  
した。  
幕別高校同窓会の千葉幹

柴田教育長(右)に要望書  
を手渡す(右2人目から)  
千葉会長、藤原会長、同席  
した飯田町長、喜多道議



雄会長、経済7団体を代表

して幕別町商工会の藤原治  
会長が訪れ、飯田晴義町長、  
喜多龍一(十勝)も同  
席した。  
要望書では2校の統合に  
ついて「まちづくりの起爆  
剤になるものと確信し、町  
を挙げて支援していく」と  
強調。特色ある学校づくり  
に向けて①1学年4学級の  
確保②進路希望などに応じ  
た全日制普通科単位制の導  
入③地域の声を学校運営に  
反映できるユニニティ・  
スクール(学校運営協議会  
制度)の導入を求めた。  
9月には公立高校配置計  
画の策定が予定され、町は  
今月18日、道教委に同様の  
要望を行っている。



**自由民主**  
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
振替口座 東京00180-1-19518

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>



十勝さらべつ熱中小学校

喜多龍一のホームページも是非ご覧ください。  
<http://www.kitaryu.com>



宇宙産業シンポジウム米国関係者来日 大樹町



北海道B&W乳牛改良の品評会 安平町早来



世界韓食フォーラム(左端が平昌オリンピック開閉会式総監督)



モンゴル蒼いウランバートル植林技術支援事業(国立庭園公園)



北海道知事杯パークゴルフ国際大会

大澤日記

皆さんこんにちは、喜多龍一事務所に来て三年目になりました大澤友記です。  
前回のかわら版であればVR(ヴァーチャルリアリティ)の話をしたものの、肝心の本体を今だ買っておらず、今年こそは！と思い、百万円貯まる(らしい)貯金箱に時折五百円硬貨を入れてはいますが、一向に重さが変わらない今日の頃。

去年は思わず「まさか」と口ずさんでしまいう出来事が多い年でありまして、某国の大統領就任に始まり弾劾・逮捕、W(ダブル)学園問題にミサイルが頭上を通過、挙句の果てに未だに任天堂スイッチが品薄の状態が続いているなど、本当にまさかまさかの年でした。

ところ変わって、VRや任天堂スイッチと言ったゲーム機器等の発展が目覚ましい進化を遂げておりますが、今は大勢の人が持ち歩いているスマートフォンでも簡単に誰でもゲームが楽しめる時代になっているのを、ご存知でしょうか？  
いわゆる「ソーシャルゲーム」と言い、これはSNS(ソーシャルネットワークキングサービス)上で誰でもダウンロードして遊べる物で、勿論有料の物もありますが、ソリティアやマインスイーパーなど、パソコンで遊べるゲームからそれこそ一般に販売しているゲーム機器のソフトと比べても遜色がない程、出来の良いゲームも登場してきております。

いや子供から大人までほぼ無料でゲームが遊べるなんて、いい時代になりましたねえ。  
……と、ここで何故無料の前に「ほぼ」と付けたかと言うと、実は無料で遊べるゲームの中には、「お金を払えばもっと楽しめますよ」と言う甘い言葉を口ずさむ悪魔がいます。その名も「課金ガチャ」。

ガチャってなんぞや？と思うかと思いますが、今結構深刻な問題になって来ています。興味のある方は調べてみると恐ろしい……いや面白いかもしれません。

まあ、私は課金ガチャよりも、貯金箱に課金する方が何倍も楽しいですけどね……ふふふ。